

済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	Clinical features of hemorrhagic duodenal post-bulbar ulcer 出血性球後部十二指腸潰瘍の臨床的特徴
当院の研究責任者	Marie Kurebayashi 紅林真理絵
他の研究機関および各施設の研究責任者	None なし
本研究の目的	To clarify the clinical features of hemorrhagic duodenal post-bulbar ulcer (PBU) 出血性球後部十二指腸潰瘍 (PBU) の臨床的特徴を明らかにすること
調査データ 該当期間	2013/1-2025/5
研究の方法 (使用する資料等)	We retrospectively enrolled 141 patients with hemorrhagic duodenal ulcer. <Study1> We classified the patients into two groups, bulbar ulcer (BU) and PBU, and compared the patient backgrounds, findings and outcomes. <Study2> We compared the survival group and death group of PBU. 後方視的に 141 例の出血性十二指腸潰瘍患者を検討した。 <検討1> 球部潰瘍 (BU) と PBU 患者の 2 群に分類し、2 群間で患者背景、発症時所見、転帰について検討した。 <検討2> PBU の生存群と死亡群に分類し、2 群間で検討した。
試料・情報の 他の医療機関への提供	None なし

個人情報の取り扱い	Complies with the personal information protection act 個人情報を遵守します
本研究に係る資金 (利益相反)	None なし
お問合せ先	Department of Gastroenterology Saiseikai Matsusaka General Hospital 済生会松阪総合病院 内科 (消化器内科)